

子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。
働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。



(社福)比内ふくし会 (大館市)

業種/医療・福祉 職員数/263名

～大切な人の老後 心を込めて寄り添う介護～を
モットーに、高齢者福祉の発展のため介護サービスの提供を行っている法人です。

参観日の参加者：子ども13名

当日のスケジュール

14:00	集合
	オリエンテーション
	車いす体験、高齢者体験
15:00	お仕事体験
	・施設見学
	・利用者さんとのお話
16:00	まとめ



みんなにあいさつ

夏休み真っ最中の子ども達が、お父さんお母さん、おばあちゃんの職場にやってきました。みんなに自己紹介する時は少し緊張気味でしたが、「よろしくお願ひします！」と元気にあいさつができました。

お年寄りの気持ちを理解しよう

福祉の仕事ってどういうものなのか、職員さんから説明してもらった後、車いす体験、高齢者体験をしました。普段何気なく行っていることが、歳をとると簡単にはできなくなることを身をもって学びました。



施設を見てみよう

利用者さんが普段使っているお風呂を見学し、どうやって入浴するのか説明してもらいました。初めて見る浴槽に子ども達は興味津々。あっという間にお湯がたまる様子に、すごいね！という驚きの声も。



かき氷を食べながらお話

施設見学が終わると、みんなで作ったかき氷を食べながら利用者さんと交流しました。事前に配られたインタビュー用紙に沿って、様々な質問をします。子ども達はもちろん、利用者さんもとても楽しそうでした。

保護者から

- ・普段は職場に子どもを連れてくる機会があまりなかったので、今回は大変良い機会になりました。私の仕事を知ってもらえただけでなく、お年寄りの気持ちについても学べたと思います。今後はさらにお年寄りに対して優しく接するようになってほしいですね。
- ・どんな仕事をしているのか、子どもに話すことはありましたが、実際に体験してみるとさらに理解が深まったと思います。

職場から

- ・お仕事参観日を実施するのは初めてでしたが、子どもが親の仕事を見る良い機会になりました。初めて会う子ども同士もすぐ打ち解けていたようで、楽しみながら仕事のことを勉強できたと思います。
- ・子ども達と交流することで、利用者さんの笑顔が増えました。このような機会がもっとあればいいですね。
- ・参加した職員や子ども達からは好評だったので、今後も続けていければと思います。

